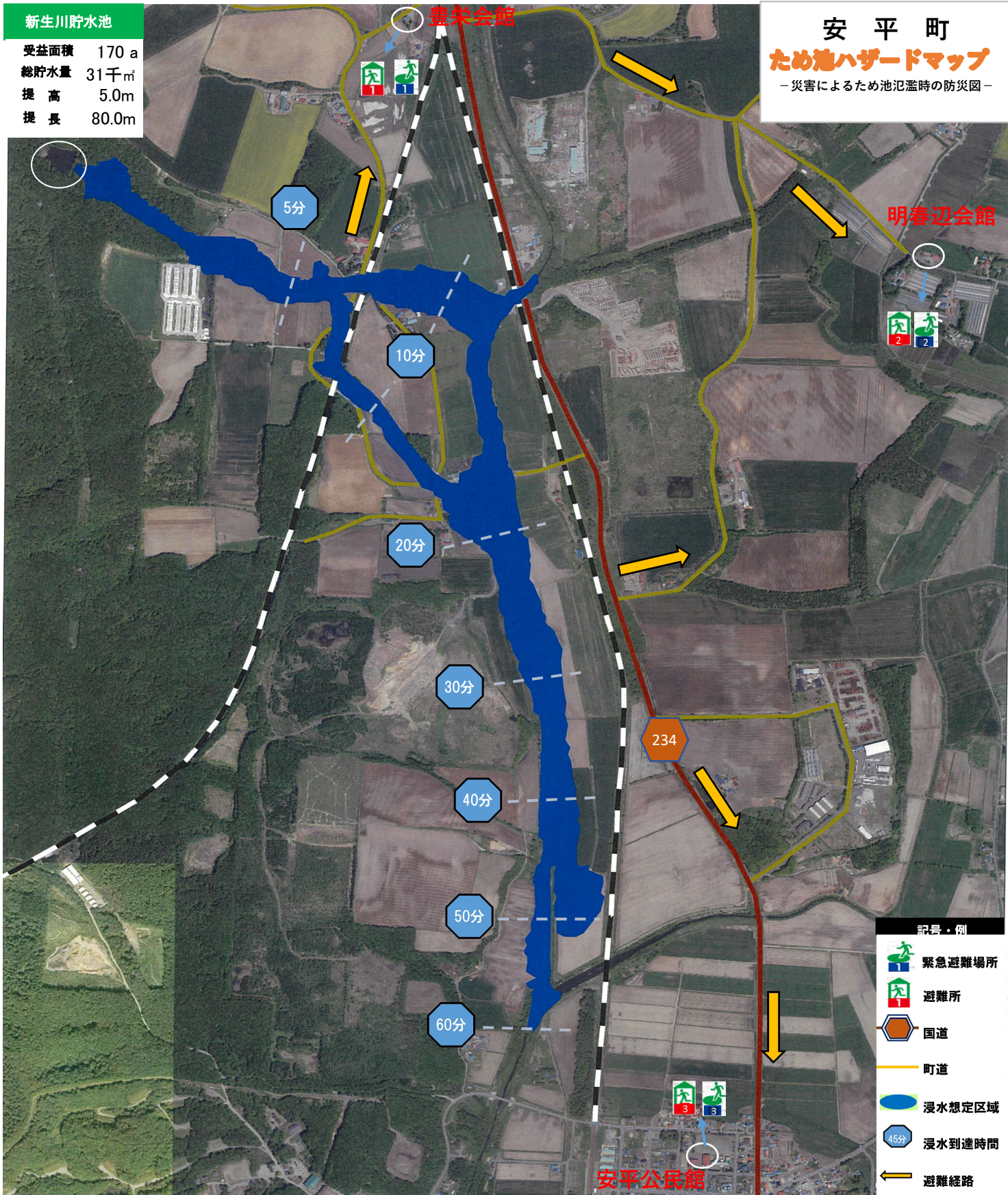


**新生川貯水池**

受益面積 170 a  
 総貯水量 31千m<sup>3</sup>  
 堤高 5.0m  
 堤長 80.0m

**安平町  
 ため池ハザードマップ**  
 -災害によるため池氾濫時の防災図-



- 記号・例
- 緊急避難場所
  - 避難所
  - 国道
  - 町道
  - 浸水想定区域
  - 浸水到達時間
  - 避難経路

**ため池ハザードマップ**

万一、ため池が決壊したときを想定して、迅速かつ安全に避難する情報を示した図です。

**緊急避難場所**

大きい地震がきたときに、身の安全を確保するため、とっさに避難するところです。

**避難所**

町が設定した避難者を収容する施設です。ここで家族や友人と合流します。

**浸水想定区域**

ため池が決壊したとき、水が浸かることが想定される範囲を示しました。実際とは異なります。

**洪水到達時間**

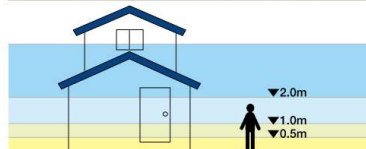
ため池が決壊して、洪水が来るまでに想定される時間です。実際とは異なります。

**最大水深**

ため池が決壊したとき、押し寄せる水が最大でどのくらいかを想定したものです。実際とは異なります。

**●浸水深の目安**

浸水深	浸水の目安
2.0m以上	1階の軒下以上が浸水する程度
1.0~2.0m未満	1階の軒下まで浸水する程度
0.5~1.0m未満	大人の腰までつかる程度
0.5m以下	大人の膝までつかる程度



**ため池に異常があった場合**

安平町土地改良区(施設)

0145-22-2076

消防署安平支所(救助)

119番又は0145-22-2074

# ため池ハザードマップとは

このため池ハザードマップは、非常に大きな規模の地震等によるため池の決壊を想定し、ため池から水が溢れ出した場合に、浸水が想定される区域にお住まいの皆様が速やかに避難できるように作成したものです。

近年、地球温暖化などの影響で大型化した台風や、局地的な豪雨による水害、大規模地震の発生等の異常気象が全国で多発しています。これらの災害から生命・財産を守るためには、日頃から備えが大切です。また、地域のみんなで協力して助け合うという心構えもとても重要です。

いざとゆきに備え、このため池ハザードマップに書かれている内容をよく読んで確認してください。

# ため池ハザードマップの活用方法

## ① 浸水が想定される区域と深さを確認しましょう

ため池ハザードマップで自分の住んでいる地区が、どの程度浸水する可能性があるのかを確認しましょう。

## ② 避難場所を確認しましょう

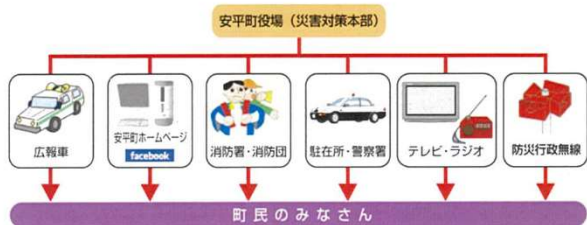
ため池ハザードマップから自分がどこに避難するのかを確認しましょう。  
※浸水区域内にある収容避難所は、洪水警報等が発令された時に二次避難が必要になる場合があります。

# 避難情報が発令!!そのとき、とるべき行動

災害により避難が必要になる場合には、役場から避難に関する情報が発表されます。避難準備情報、避難勧告、避難指示が発令された場合には、指定の避難所に非難してください。自分の家がどこに避難するかをハザードマップで確認し、いざという時に避難できるようにしておきましょう。

## ① 避難情報の伝達方法

避難に関する情報は、下図の経路で避難する必要がある地域のみなさんに伝えられます。これらに注意し、速やかに避難できるようお掛けください。



## ② 避難情報に従いましょう

災害被害の危険から、みなさんの人命を守るために発令されます。

種類	拘束力
避難準備	弱
避難勧告	中
避難指示	強

避難準備 → 災害の危険性が高まった時に発令します。

お年寄りの方や体の不自由な方など、避難に時間が係る方が避難する必要に迫られた時に発表される

### ● こんなときに発令されます。

- 気象台から大雨・暴風又は洪水の警報が発表され、避難しなければならない状況になったとき。
- 近隣で湧き水、地下水の濁りや量の変化といった土砂災害の前触れ現象が確認されたとき。
- 河川の水位が氾濫注意水位を越えて、なお上昇が予想されるとき。

### ● 発表例

「〇〇時間後に△△川の水位が危険な水位に達するおそれがあります。避難に時間がかかる方は、最寄の避難所へ避難を開始してください。」

### ● とるべき行動

- 避難に時間を要する人は避難を開始してください。
- 家族との連絡、非常持出品の用意をして避難準備を開始してください。
- 災害時要援護者の家族や隣近所の方々には避難雄手助けを開始してください。

# 気象情報の入手方法を知っておきましょう

## ① 携帯電話に気象情報がメール配信されます

北海道が作成した「北海道防災対策支援システム」に登録すると、お手元の携帯電話に気象警報や避難情報などがメールで配信されます。

メール配信される情報	登録方法	問い合わせ先
① 気象情報 (暴風雪・大雨・洪水・暴風・大雪)	携帯電話URL <a href="http://www.bousai-hokkaido.jp/mobile/">http://www.bousai-hokkaido.jp/mobile/</a>	北海道総務部 危機対策局防災消防課
② 地震情報 (震度4以上)	上記サイトにアクセスし、	TEL 011-204-5007 (ダイヤルイン)
③ 避難情報 (避難情報の発表・解除)	「防災情報配信登録」してください。	

## ② インターネットで気象情報を確認しましょう

気象庁	気象庁
気象庁 URL >>> <a href="http://www.jma-net.go.jp/muroran/">http://www.jma-net.go.jp/muroran/</a>	気象庁 URL >>> <a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>

# 緊急連絡先を知っておきましょう

## ① 緊急連絡先

① 警察 110番			
西小牧警察署	0144-35-0110	安平駐在所	23-2339
警察への相談	(局番なし) #9110	早来駐在所	22-2030
遠分駐在所	25-2003	逸浅駐在所	22-2211

② 消防・救急 119番			
消防署安平支署	22-2074	消防署安平支署 遠分出張所	25-2119
北海道救急医療情報案内センター	0120-20-8699 (携帯電話・PHSからは、011-221-8699) 携帯電話からお掛けになる場合、安平町内からです【119番】では胆振東部消防本部につながってしまいます。上記消防署の電話番号を市外局番から登録いただき、ご利用いただけますと、地理情報に詳しい担当がありますので早い対応が期待できます。		

③ 役場 22-2511 (早来庁舎代表電話)			
水道・下水道などの被害について	22-2730	その他不明な点は、上記代表電話22-2511にお問い合わせください。	
道路・河川・公園などの被害について	25-2496	なお、休日・夜間の災害発生時には消防署安平支署22-2074にご連絡ください。	
街路灯・公営住宅などの被害について	22-2516		

④ ライフライン		⑤ 交通機関	
北海道電力西小牧支店※早来地区のみ	0144-32-5321	JR遠分駅	25-2611
北海道電力停電情報サービス※早来地区のみ	0120-827-121	あつまバス	27-2311
北海道電力栗山営業所※遠分地区のみ	0123-72-1071		
北海道電力停電情報サービス※遠分地区のみ	0120-438-121		
NTT東日本 (局番なし) 113			
NTTドコモ (お客様センター)	0120-800-000		
au (お客様センター)	0077-7-111		
ソフトバンク (お客様センター)	0800-919-0157		

## ② 家族の安否を知りたい・知らせたい!!

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を家族で確認しておきましょう。

### 災害用伝言ダイヤル171

家庭などの固定電話を利用してメッセージを録音、再生できるサービスです。

**伝言の録音方法**

171にダイヤルする  
ガイダンスが流れます

録音の場合 1

(XXXX)XX-XXXX  
自宅の電話番号をダイヤルする  
(携帯電話の番号は不可)

**伝言の再生方法**

171にダイヤルする  
ガイダンスが流れます

再生の場合 2

(XXXX)XX-XXXX  
連絡を取りたい被災地の方の  
電話番号をダイヤルする

### 災害用伝言板サービス

携帯電話を利用して安否を登録、閲覧できるサービスです。使用にあたっては、携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

# わが家の防災メモ

## ① わが家の避難所

	避難場所	住所	電話番号
洪水			
地震			
土砂災害			

## ② 家族の連絡先

家族の名前	連絡先 (勤務先・学校など)	電話番号	携帯電話番号

## ③ かかりつけの病院

病院名	電話番号
病院名	電話番号
病院名	電話番号

〒059-1595

勇払郡安平町早来大町95番地

安平町役場 産業経済課 土地改良・林務グループ

TEL: 0145-22-2515 FAX: 0145-22-3006